

ひがん花祭りを支えている地域の方に聞きました



これからのやりがいにつながります！

私は、地元で取れた農林産物を販売するのが当日の役割でした。地元農家の方が一生懸命育てた新鮮な野菜などを少しでも多くの来場されたお客さんに見てもらい、知ってもらおうことが、地元にとって、やりがいにつながると 생각합니다。

お客さんの一言がうれしい！

今年は、昨年より500食多い、1,000食の弁当を準備することになりましたが、準備から当日まで、周囲の協力があったスムーズにいったと思います。また、町外のお客さんに「このイベントは地区の若者から高齢者まで総出の祭りですね」と言われたのがうれしくて印象的でした。

たくさんの人が見てくれて、うれしい！

わたしは、田の神さあのガイドをしました。傘とハッピを着てやりました。お客さんによく分かるように、田の神さあの方を手でさしたりしました。お客さんが見てくれてうれしかったです。ひがん花がとてもきれいでした。たくさんの人が見てくれて、うれしかったです。

ふるさとを愛する心を育てたい！

この祭りを通して、子ども達は、ふるさとの良さを知ったり、大勢の人の前で元気良く発表ができたり、地域のために役立っていることを実感する良い機会に恵まれたと思います。地域と学校との双方向で連携することで、ふるさとを愛する心が育てられればと思います。



産業経済部副部長
別府 十治さん



女性部長
福岡 康子さん



柊野小学校1年
重信 まこさん



柊野小学校 校長
深川 晴久さん

Interview



■夜明け前から郷土料理の「みそびら」の準備は始められます。



毎年、柘野に足を運んで欲しいです！

私は、当日の式典で進行を務めました。当日までの準備は大変でしたが、来場されたお客さんに、柘野を満喫し、楽しみ、喜んで帰ってもらい、また来年も柘野に来て欲しいという思いで、みんなで会議を進めました。

親切な道案内を心掛けたい！

私は、案内板を設置するのが役割でしたが、もう少し増やせばお客さんが会場にたどり着きやすいのかなと思いました。その他には、メインのひがん花をいかに美しくお客さんに見てもらえるかなど、咲く時期などが毎年違うので気を遣いますね。



柘野区会計
下屋敷 正さん



社会文化部長
福圃 渉さん